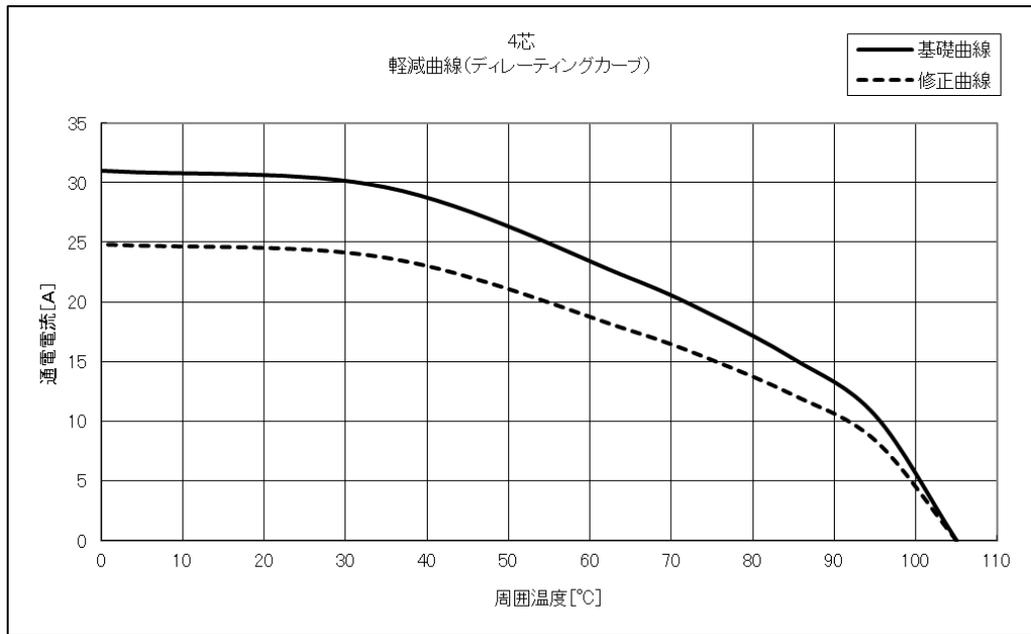


Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO.,LTD. All Rights Reserved.  
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適用規格						
定格	使用温度範囲 <sup>(2)</sup>	-40 °C ~ +105 °C	保存温度範囲	-10 °C ~ +60 °C		
	電圧	AC 30 V , DC 42 V	電線サイズ	電源 : AWG#14~16 信号 : AWG#22~24		
	電流 <sup>(1)(5)</sup>	電源:24 A(周囲温度25°C時) 信号 : 1 A	適合ケーブル	電源 : φ2.6~3.0 信号 : φ1.4~1.6		
<b>性能</b>						
	項目	試験方法	規格	QT	AT	
構造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電気的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	10 mΩ以下(電源端子) 15 mΩ以下(信号端子)	○	○	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○	
	耐電圧	AC 600 Vの電圧を2 min印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
機械的性能	コネクタの挿抜力	— の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 — 以上	—	—	
	コネクタの挿抜力 	適合コネクタで測定する。(ロック機構を除く)	挿抜力 60 N以下	○	—	
	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	接触抵抗: 10 mΩ以下(電源端子) 15 mΩ以下(信号端子)	○	—	
	耐振性	周波数 10~55~10 Hz/サイクル, 片振幅 0.75mm, 5 min/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	耐衝撃性	加速度 500 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波3軸両方各 3 回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
環境性能	定常状態の耐湿性	温度40 °C, 湿度90~95 %中に96 h放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	温度サイクル	温度 -40 °C → 常温 → +105 °C → 常温 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 min を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	塩水噴霧 <sup>(3)</sup>	適合コネクタをかん合した状態で、 濃度 5 %の塩水, 48h放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—	
	耐熱性	温度 +105 °C中に 96 h放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐寒性	温度 -40 °C中に 96 h放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐水圧性 <sup>(3)</sup> (IPX7) (JIS C 0920:2003)	適合コネクタをかん合した状態で水深1 mlに 0.5 h 放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—	
	耐気圧性 <sup>(3)</sup>	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部にエア 圧17.6 kPaを30 s加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—	
耐水圧性 <sup>(3)</sup> (IPX6)  (JIS C 0920:2003)	適合コネクタをかん合した状態で、3mの距離から全 方向に100L/minの噴流水を3min噴射する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—		
△の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
3	2	DIS-C-00009416		SH. KOYAMA	EJ. KUNII	20211215
備考			承認	YH. YAMADA	20200128	
注(1) 上記規格値は適合端子: BH12-P-213, BH12-P1-213を組込んだ状態での値を示す。			検図	HN. TANAKA	20200128	
注(2) 通電による温度上昇を含む。			担当	SH. KOYAMA	20200128	
注(3) 塩水噴霧、耐水圧性、耐気圧性は、結線部を封止した状態で試験を行う。			製図	SH. KOYAMA	20200128	
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。						
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番 SLC-390399-00-00			
	製品規格表		製品名		BH12WR-4P	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL0140-0012-0-00  2/2	

[参考]



注(4) 軽減曲線(ディレーティングカーブ)における修正曲線(破線)は、基礎曲線における80%の電流値です。

注(5) 定格電流は、コネクタが使われる周囲温度により変わります。

軽減曲線(破線)より内側でのご使用をお勧めします。

注(6) 本品のディレーティングカーブの測定方法は以下によります。

- ・初期の本製品を使用。
- ・使用するケーブルの公称断面積：電源…2.0mm<sup>2</sup>(AWG#14)、信号…0.3mm<sup>2</sup>(AWG#22)
- ・静止状態で通電し、測定。

(詳細は試験成績書管理番号TR140B-20045による。)

注	QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目	図番	SLC-390399-00-00		
<b>HRS</b>	製品規格表	製品名	BH12WR-4P		
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL0140-0012-0-00	3	2/2